

山田不動産株式会社と連携協定を締結しました

北区役所は3月21日に、北区における社会福祉の向上と子どもの健全育成、カンボジア王国との文化交流及び相互理解の促進を図ることを目的として山田不動産株式会社(茶屋町)と連携協定を締結しました。

山田不動産株式会社の山田英男代表取締役は、本業の傍らボランティアで、2001年から在大阪カンボディア王国名誉領事を務めています。アメリカで経営しているステーキレストランでカンボジア人を従業員として受け入れたことをきっかけにカンボジア政府とつながり、名誉領事を務めることになりました。アンコールワットに代表される観光PRIはもちろん、現地に学校を建設して教育支援に努めるなど、幅広く活動を続けています。今回の連携により、北区の様々な事業において、カンボジアとの文化交流や相互理解を促進する取組を進めていきます。

山田さんはまた、地元・北区の子どもたちにも笑顔を届けたい、と話します。今後は、区内の子ども食堂に対して食材を提供いただくなど、社会福祉の向上と子どもの健全育成にご協力いただく予定です。



山田英男代表取締役

関西SDGsユースアクション2023「チクマ賞」受賞

2月23日、「第5回関西SDGsユースアクション2023」の表彰式が行われ、大淀中学校2年生(当時)の山下珠理さんが提案するSDGs達成のためのアイデア「あみだ池筋プロジェクト ミライ by大淀」が「チクマ賞」を受賞しました。

山下さんのアイデアは、災害時に避難所となる中学校を核に、地域住民が普段から連携することをめざした取組です。具体的には、あみだ池筋など交通量の多い幹線道路がある地域性に注目して「交通安全マスコット」を作ります。まずは所属する家庭科部で取り組み、シニアの皆さんを「シニア部活」として巻き込んで、世代間交流のできる活動に発展させたいと語ります。

受賞をきっかけに、繊維専門商社・株式会社チクマから布地などの寄付を受け、マスコット作りが始まりました。今後の展開に注目です。



山下珠理さん



▲提案の詳細は、関西SDGsユースアクションホームページ

小中学校の教科書の見本を展示します

学校で使用する教科書について、保護者や市民の方が閲覧する機会を確保し、関心・理解を深めていただくため、教科書センターを設置し、教科書(見本)の展示を行います。教科書は、4年に1度採択され、今年度は中学校教科書の採択が行われます。

📅 6/14(金)~7/12(金)9:00~17:30(土日除く)

📍 北区役所1階区民交流プラザ内

🗨️ ●教科書採択や教科書センターについて

教育委員会事務局指導部初等・中学校教育担当 ☎06-6208-9186

●教科書の展示場所について 政策推進課 ☎06-6313-9472 📠06-6362-3821



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちのSDGs④

地球規模の環境問題や社会課題の解決も、まずは一人ひとりの小さな実践の積み重ねから。毎月、区内の様々な活動をお伝えします。

国際ソロプチミスト大阪一梅田



会長の細川寛子さん

女性が自立するための支援必要とされることを継続的に

「がんばろう!能登」。4月2日、国際ソロプチミスト大阪一梅田が開いたチャリティーバザーの会場に青いのぼりが立ちました。能登半島地震で被災した地元の業者が工芸品や特産品を販売するブースは大にぎわい。会長の細川寛子さんは「被災地の方々は、忘れられていないことが実感できた、と言って帰られました。寄り添う気持ちが伝わったんですね」と話します。

国際ソロプチミストは管理職・専門職に就く女性たちで構成する国際的な奉仕団体です。

1990年に誕生した「大阪一梅田」は帝国ホテル大阪(天満橋1)に事務局を置き、会員は40代から90代まで31人。月1回の例会で話し合いながら、DV被害を受けた女性の自立支援や経済的に恵まれない女子学生の支援、海外の診療所への寄付など、幅広い活動を続けてきました。

一方、変化の激しい時代にあって、これからの活動の方向を模索しています。その一つが地域密着です。「拠点のある北区で、起業を志す女性や専門的な技術・資格の取得をめざす女性、教育や子育てに取り組む団体などを支援できれば」と細川さん。自身も子育てが一段落した45歳から資格を取得して50歳を前に起業、その後の人生を切り開いてきました。

「押し付けでなく、必要とされることを継続的にお手伝いしたい」と話します。継続のためにも、新しい仲間が加わることを願っています。「被災地支援にしても、個人ではできなくても組織があれば知恵を出し合って実現できる。その喜びを知ってもらいたいですね」



国際ソロプチミスト大阪一梅田ホームページ▶



能登半島からの出展ブースが並んだチャリティーバザー

新旧様々な“推しスポット”がある北区! 最新情報と共に伝えたい

歯神社(はじんじゃ)

📍 角田町2-8

歯神社 ホームページ▶



水害の「歯止め」転じて「歯痛止め」に

JR大阪環状線の高架脇、ショッピングモールの向かいに、朱塗りの鳥居が立ちます。鳥居には「歯神社」とあり、「はがみさん」として親しまれてきました。社殿の前に、しめ縄が掛けられた丸い石が置かれ、この「なで石」をなでて痛い所を触ると歯痛が和らぐのだそうです。



鳥居の前を若者や観光客が行き交う

神社の由緒によると、元は地域のお稲荷さんでした。江戸中期、淀川の決壊による付近の水没の危機を御神体の巨石が防いだことから「歯止めの神様」として慕われ、いつしか語呂合わせで「歯痛止めの神様」に。明治時代に、近くの綱敷天神社の末社に加わり正式な神社になりました。大阪大空襲の火の手も「歯止め」したと伝わり、社殿や御神木のイチョウは戦前のものです。

6月4日の例祭で歯ブラシ授与

綱敷天神社禰宜の白江秀知さんは、「参拝者は歯に関する仕事の人が多いものの、老若男女、外国の方も歌手の方も参られます。誰も歯の悩みをお持ちなんですね」と話します。

例祭は6月4日です。でも「虫歯予防デーができる前からこの日だったと言われています。田植えの関係でしょうか」と白江さん。午前11時からの神事後、メーカーから奉納された歯ブラシが先着100人に授与されます。実は、初めての国産歯ブラシは大阪で作られ、今もそのシェアは日本一。ある意味、大阪らしいお祭りです。



なで石

「おかげで空襲を免れた」と今でもおっしゃる方や、「幼い頃、両親となで石をなでに来たから」とお子さん連れで参られる方もいて、代々の思い出を重ねられる場所です。大切に残して、これからも思い出をつないでいきたいですね。

禰宜の白江秀知さん

教えて! 北区の“推しスポット” ②